

2014年合格目標
TAC 行政書士講座

受験生応援イベント・第6弾！

**「40字記述
解き方&書き方セミナー」**

《セミナーの内容》

- 1. 記述式で求められる力**
- 2. 40字記述の解き方**
- 3. 40字記述の書き方**
- 4. 40字記述の勉強法**

1. 記述式で求められる力

① 問題を読み解く読解能力

= 法律用語を理解しているか

② 答えるために必要な法的知識

= 条文・判例の正確な知識があるか

③ 法的対話力

= 問いに対応した答え方ができるか

④ 文書作成能力

= 形式を踏まえた文書を作成できるか

例題)行政法

行政庁が不利益処分をしようとするに際して行われる聴聞の手続きにおいて、
聴聞期日に出頭した当事者や参加人、もしくはそれらの代理人は、どのようなこと
をすることができるか。

例題)民法

Aは、Bに対して自己所有の土地を売却したが、期限が到来しているにもかかわらず、土地の引渡しおよび代金の支払いはいずれもされていなかった。その後、B
がCに対してこの土地を転売し、Cは、Aに対してこの土地の引渡しを請求した。こ
の場合、Aは、Cに対して、どのような債権を担保するため、どのような権利を行使
できるか。

2. 40字記述の解き方

⇒ ①読解能力＋②法的知識

（１）記述の問題文の把握（読解能力）

- ① 法律用語のマスター
- ② 「事案部分+問いの部分」という構造から「問い」を押さえる
- ③ 図を書いて事案を正確に把握する

（２）記述の問われている論点の発見方法（正確な法的知識）

- ① 体系から分野の絞り込み
- ② そのなかで書くべきことを箇条書き

3. 40字記述の書き方

⇒ ③法的対話力＋④文書作成能力

（１）問いの形から答えの形を作る（法的対話力）

- ①「問い」の形を把握。
- ②「答え」の形を作成。（穴埋めの文章の作成）

（２）答えの形に知識をはめ込む

「答え」の形に知識をはめ込む（穴埋め作業）。

（３）形式的ミスがないように回答を作成（文書作成能力）

- ①45字以内で書く。
- ②「てにをは」に間違いがないか確認
- ③問題文を繰り返していないか確認。
- ④誤字・脱字はないか確認。

4. 記述式の勉強法

⇒ おススメの勉強法はこれだ！

（１）佐藤流記述式勉強法

（２）小池流記述式勉強法

以 上